

県南 5 市における GIS 情報提供サービスの調査研究

報 告 書

(概 要 版)

2004 年 3 月

埼玉県南 5 市まちづくり協議会

1 調査研究の目的

地図をベースにしたインターネットによる情報提供は、サービス拠点を概念的に捉えやすいため、利用ニーズが多い。しかしながら、公共団体が情報提供を行う場合は、市域外の利益提供排除を意識するあまり、広域的情報はどうしても公的分野に偏りがちになることから、生活する市民が求める情報になりにくいことがあげられる。

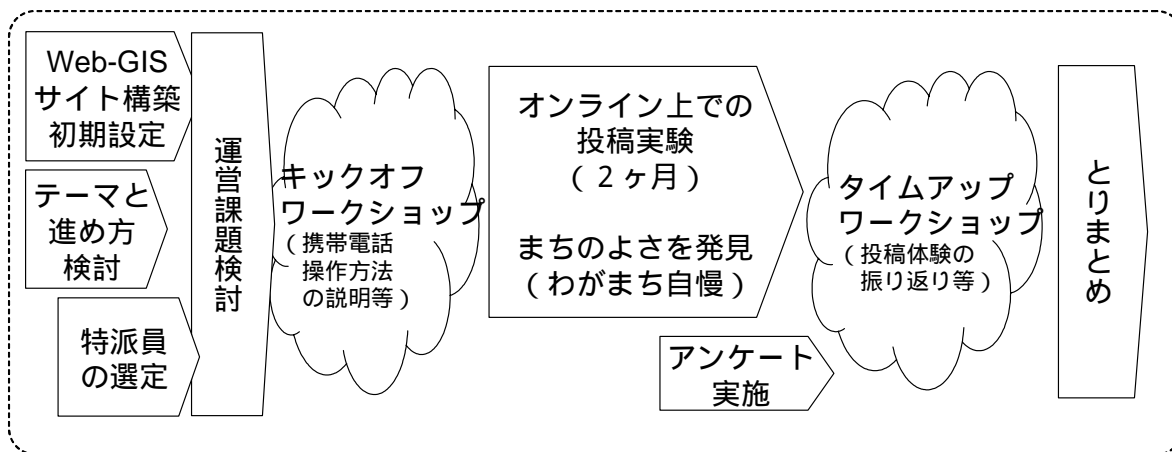
今回は単独市では難しかった広域的情報提供を、同一生活圏である県南5市地域で一体化して行い、より効果的で経済的なシステム構築と先進的市民サービス提供の実現可能性を調査した。広域にまたがる情報が、わかりやすい地図情報として提供された場合、圏域住民はどのような情報の掲載を求めるのか。その情報がどこにあり、どういった方法であれば最新情報が提供できるかについて調査研究を行った。

2 調査研究の概要

2.1. 実験の全体フロー

本調査研究のフローは図表1のとおりであるが、市民参加型 Web-GIS の構築・初期設定を9月に行い、テーマと進め方を平行して検討した。その結果市民参加を促す「特派員イベント」を開催(11月~1月)することとし、オンライン上での投稿実験の前後にはワークショップを実施した。また、GISによる情報提供のあり方に関するアンケート結果も踏まえた上で、最終的にとりまとめを行った。

図表 1 調査研究のフロー

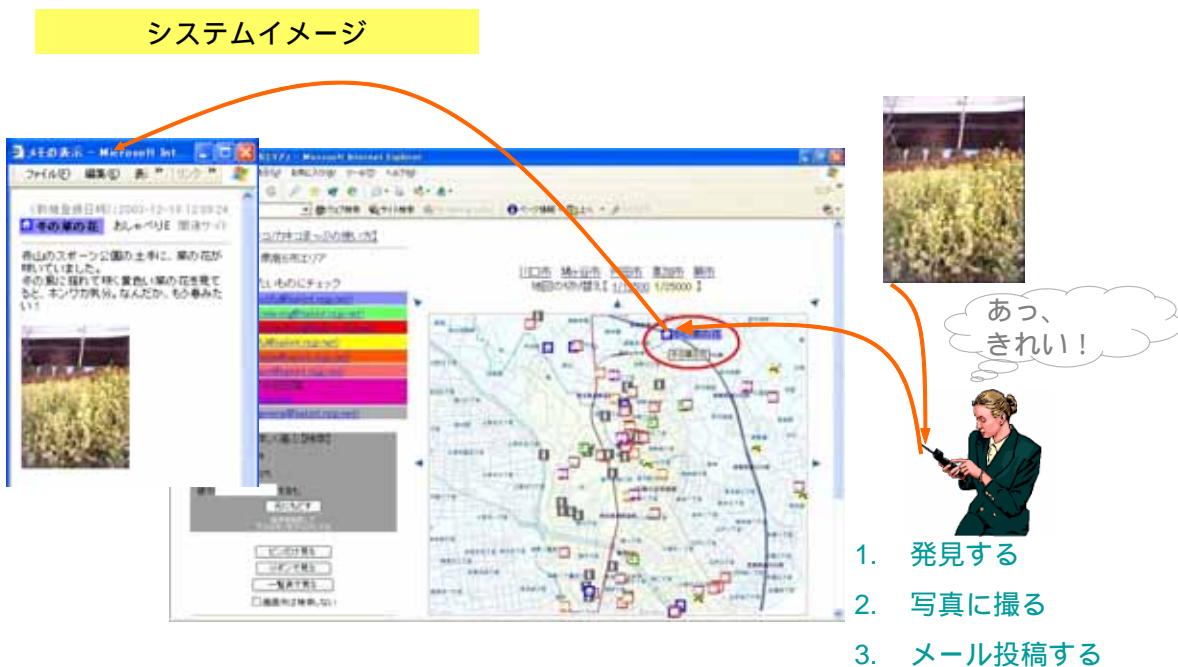


2.2. Web-GIS 機能構成

提供する GIS システムは、楽しく気軽に書き込めること、縮尺切替実現など必要な機能が既に安定して運用されていることなどを考慮した結果、「カキコまっぷ」という GIS をベースとした。カキコまっぷは既にインターネット上で運用されている「地図型掲示板」で、地図上の任意の地点へメッセージを書き込みでき、縮尺の切替、周囲へのスクロールなどが可能なシステムである。

また投稿においては GPS 付きカメラ付き携帯電話を利用して、位置情報と併せて写真とコメントの情報投稿が可能であり、リアルな「まち歩き」情報を掲載できるため、情報発者の簡便性が非常に高い。このことからリアルな情報が低コストで蓄積できるものである。

図表 2 システムイメージ



本システムの、Web での閲覧および投稿する部分には、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻都市計画研究室が開発した、「カキコまっぷ」を用いた。

参考 URL : <http://upmoon.t.u-tokyo.ac.jp/kakikodocs/>

本システムの、GPS 付き携帯電話から情報を投稿する部分は、東京農工大学工学部情報コミュニケーション工学科中西泰人助教授らが開発した「時空間パーサー」を用いた。

参考 URL : http://www.myu.ac.jp/~motoe/text/zone_poemmer.html

2.2.1 特派員の選定

(1) 特派員の位置づけ

本実験では、ベースとなる情報そのものの価値だけではなく、新しく投稿される記事により市民相互の交流を促すことをイメージしている。そこで「呼び水」となる情報群が必要となり、その情報を提供する特派員は重要な役割を担うこととなる。

(2) 特派員への依頼プロセス

今回は各市から2名の特派員を選定することとした。特派員の選定にはイベントテーマ「わがまち自慢」に対し、自らの市の特徴を表現することのできる人、地域の情報に積極的な人、継続的にサイトを運営する場合において積極的な役割を期待できそうな人などを基準とし、各市からミニコミ誌、同好会、商工会など多様な特派員が推薦された。推薦された人に対しては、実験の趣旨とお願いしたい内容についての説明を行った。

図表 3 選定された特派員

No.	市	所属団体等	役職	性別
1	川口市	DTP デザイナー(フリー、出版経験者)		女性
2		主婦		女性
3	蕨市	パートナー編集委員会 委員	委員	女性
4		P T A 副会長		女性
5	戸田市	戸田レインボウローイングクラブ	会員	女性
6		戸田レインボウローイングクラブ	会員	女性
7	鳩ヶ谷市	おしゃべりジャーなる(ミニコミ誌)	編集部	女性
8		おしゃべりジャーなる(ミニコミ誌)	編集部	女性
9	草加市	せんべい製造事業者	マネージャー	男性

2.2.2 運営上の課題検討

特派員候補への事前の打合せでも、不適切な投稿が行われた場合の対策が問題になった。そのため、サイト設置にあたっては、「利用許諾」とともに「情報投稿のガイドライン」を設定した。

(1) 利用許諾

利用許諾においては、著作権の取り扱い、名誉既存・プライバシー関係などの問題に対応するため、「記入者の了解なく記事を削除する場合がある旨」の規定をおくなどの工夫をした利用許諾を作成した。

(2) 情報投稿のガイドライン

必ず守らなければならない規則ではないが、サイト管理者として投稿者に望んでいる投稿内容のイメージを明らかにするために、情報投稿のガイドラインを設置した。実験の趣旨を理解している特派員がいるため、その投稿を真似れば自然に趣旨に沿ったコミュニケーションが発生すると期待し、あまり複雑なものとならないように心がけた。

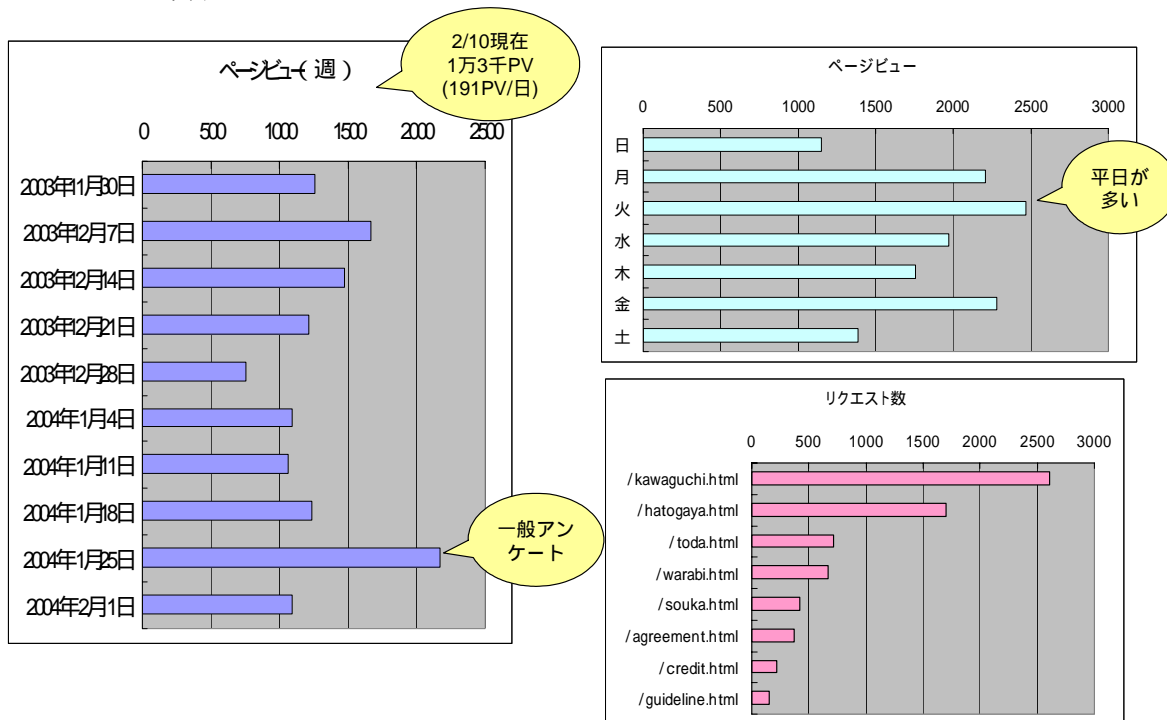
2.2.3 アクセスログの分析

アクセスログをまとめた結果を次の図に示す。

実験期間内に合計1万3千ページビューが得られた。

図表 4 アクセス数の推移

アクセス数の推移



2.3. 交流内容の評価（投稿内容の分析）

図表 5 掲載された投稿の例

<p>面 鉄腕 DASH ロケ地</p>  <p>12月7日放送の日テレ「鉄腕DASH」の「デジカメで撮りあってどこまで行けるか!」でTOKIOの長瀬くんがたどり着いた場所。とっぷりと日が暮れていたのに、鹿浜橋からここを撮影。よく撮れたものだ。</p>	<p>面 鳩ヶ谷のうなぎ屋さん1</p>  <p>昔から鳩ヶ谷は鰻が美味しい所で有名だった。「竹江」は、有名人がよくおしのびでやって来るところで、ちょっと甘めのタレが美味しい!</p>	<p>面 チームカラーがあります</p>  <p>戸田公園駅構内上部に飾られているミニオールのオブジェです。高校、大学、実業団等チームによってそれぞれオールの色やデザインが違います。これがわかっているとレースを5倍楽しめます。</p>
<p>面 キティお守り</p>  <p>和楽備神社は一度、ロケにも使われたほどきれいで、木の香りがします。</p>	<p>面 煎餅</p>  <p>草加の旧街道沿いにはたくさんのお煎餅屋さんがあります</p>	

投稿された記事に対して、レスが付くシステムで、市民の目から見たやり取りが数多く行われた。

図表 6 投稿例

(作成日時)2003/12/1 17:29

べ充実してます

特派員 No.5

戸田市スポーツセンターです。トレーニングルーム、陸上競技場、弓道場等があり、いろいろなスポーツが楽しめます。50mの屋外プールもあります。



(作成日時)2003/12/3 8:58

べ Re:予約システムも充実してます

rainbow-R

施設予約システムも充実しています。インターネット、利用者端末機、電話でも音声応答システムでできます。新たに携帯サイトからも予約できるようになりました。利用料金も安く、とても助かっています。

図表 7 投稿例

(作成日時)2003/12/2 15:21

歴鳩ヶ谷の良き時代を彷彿させる昭和初期の洋風建築物

特派員 No.6

大正ロマンを感じさせる建物。煙草と塩の専売所だったらしい。外観は洋風だけど木造なんだって！



(作成日時)2003/12/2 15:30

き Re:

PC user

さっそくネットで調べてみました。いろんな情報がありましたよ。右側の関連サイトからご覧になれます。

<http://neko-punch.hp.infoseek.co.jp/kawaguti-senbaisyo.htm>

2.4. アンケート調査結果

2.4.1 一般市民アンケート（Web アンケート）結果

今回の実証実験について、利用者側からの評価により、今後提供すべき機能、検討すべき事項等について明らかにするためアンケート調査を行った。具体的には機能・操作性、情報内容、利便性、ベースマップ、運営者像などについて一般のインターネットユーザの意見を取りまとめた。

下記に見るように、投稿内容に対して肯定的な評価が大きかった点を第一に指摘できる。わずか10人不足の特派員から投稿された内容が、投稿のほとんどをしめていたが、無関係な一般市民から見ても十分に興味を引くことがわかった。

< 一般市民アンケート結果 概要 > 総回答数 - 547
(5市域内に在住の市民)

基本属性

- ・年齢から見た場合には30代、40代が多い。(全体の7割)
- ・半数以上が10年以上在住者である。

興味の有無

- ・6割以上の回答者が面白い投稿があったと回答。
- ・半数弱の回答者が出かけたくなかったと回答。
- ・飲食店情報・景観スポットなどが人気。

利点

- ・「生の情報」に対して高い評価がされた。
- ・「写真付き」に対しては女性の評価が相対的に高い。

不満点

- ・システムへの不満の第一位は、「記事内容に関する信頼性」。
- ・操作性・ビジュアル面等の機能的改善要望も強い。

利用可能性

- ・1割以上の回答者より「自分が利用したい」との回答。また、6割は「利用したい人がある」と回答。
- ・50代男性からの評価が厳しく、その他の階層との評価がそむき離れている。

2.4.2 特派員アンケート結果

一般市民へのアンケートとあわせて、今回の実証実験に参加いただいている特派員からも評価を行うことで、より具体的な内容を明らかにするためアンケート調査を行った。

なお、草加市では特派員は1名であったが、今回の実験で携帯電話による投稿を行った別の方（特派員と同じ会社に勤務する20代の女性）からもアンケートに協力いただいたため、各市から2名で合計10名の回収を得た。

特派員からは、投稿内容に対して面白さを感じている度合いが一般市民に比べて高かった。当事者として参加していることが満足度につながっている点を指摘できる。

継続的に運営を行う場合の参加の障害として携帯電話の通信料金は問題ではあるが、むしろテーマ設定で興味のあるものを設定できるかどうかのほうが大きい点が注目される。テーマ設定を適切に行い、通信料金負担や地域通貨の仕組みなどの若干の後押しがあれば、十分に交流を促進し、地域を活性化しうることがわかった。

< 特派員アンケート結果 概要 > 総回答数 - 10

基本属性

- ・年齢から見た場合には30代が多い。

興味の有無

- ・全員が面白い投稿があったと回答。（一般市民に比べても高い）
- ・9割の回答者が出かけたくなかったと回答。（一般市民に比べても高い）
- ・飲食店情報・景観スポットなどが人気。（一般市民と同じ）

利点

- ・「写真付き」に対して評価が高い。
- ・「生の情報」に対して高い評価がされた。
- ・携帯電話は気付いたその場で投稿できる点が評価（7割）された。

不満点

- ・「記事内容に関する信頼性」は2割と相対的に低い。
- ・操作性・ビジュアル面等の機能的改善要望、特に「ピン・リボンの重なり」への不満が7割。

利用可能性

- ・「自分が利用したい」との回答はないが、「利用したいグループを知っている」は2割。「利用したい人がある」は6割。（一般市民と同等もしくはやや低い）
- ・投稿時に料金がかかることの懸念は3割。5割が興味がある分野等で面白さを感じられれば料金負担してでも投稿すると回答。

2.5. 特派員イベント・ワークショップを通じて得た知見（運営上の考察）

2.5.1 タイムアップワークショップ

2月13日（金）に鳩ヶ谷市立ふれあいプラザさくらにてタイムアップ・ワークショップを行った。

図表 8 分野別に見たシステム活用の可能性

分野	システム活用の可能性
生活・自然	<ul style="list-style-type: none">・ 季節感を生かしたもの（お花見など）がおもしろいだろう。・ 水辺などの自然のアピールにも利用できる。・ 安全・安心の生活の実現には、防災・防犯分野での活用できる。その際、マイナス情報などを含めた口コミ情報を上手く活用できると良いのではないか。
保健・医療・福祉	<ul style="list-style-type: none">・ 子育て支援、保育園などにも活用できるだろう。・ 病院、歯科などの口コミ情報も欲しい。・ 障害がある人でも行ける美容院などは、口コミに頼っている。こうした少数者への支援にも使える。
教育・文化	<ul style="list-style-type: none">・ 小学校や中学校での地域の勉強、総合学習などに使える。・ 先生も新任などでは、地域のことを知らない場合があるので、こうした情報ソースがあると利用されるだろう。・ 中学では職場体験があり、産業振興にもつながる。
産業	<ul style="list-style-type: none">・ 小学校の総合学習や中学校の職場体験との連携も考えられる。・ おいしい店などの情報は利用度が高い。・ 草加市では、お煎餅の宣伝を掲載したが、情報提供が上手くされなかったため購買に結びつかなかった。

さらに、システムへの評価についてもいくつかの建設的な意見が出た。主なものは次の通りである。

- ・ 有用な投稿があるのだから、きちんとたどり着けるように、特に最大縮尺の地図をわかりやすくすべきではないか。
- ・ 面白い投稿が多かったなので、きちんと投稿を探せるようにすべきである。別のジャンル分けからもたどれる様にすることや、あいまい検索を許すシステムなどが望まれる。
- ・ 市域をまたがっているところが評価できる。生活圏と市域のギャップがあるので、市域をまたがっていることで地域コミュニティの活性のツールになる。

写真 タイムアップワークショップ会場の様子 1



写真 タイムアップワークショップ会場の様子 2

